

本日のおもちかえり
2017年11月5日

1) ローマ人への手紙8章1節—11節を読みましょう。ここには「肉」という言葉が9回、御霊という言葉を含めて「霊」という言葉が11回でてきます。この「肉」と「霊」にはどんな関係がありますか。

2) ローマ7章でパウロは「わたし」という言葉を42回使って、自分の罪深さというものを告白しています。それと対照的にローマ8章全体には23回、「霊」という言葉が使われています。これは何を意味しますか。

3) 釈迦やソクラテスとイエス・キリストは何が違いますか。彼らの弟子に対する言葉から何がわかりますか。

4) イエス・キリストは「私はあなたがたを捨てて孤児にはしません。わたしは、あなたがたのところに戻ってくるのです」（ヨハネ14章18節）言われました。この約束はどのようにして可能になりますか。

5) イエス・キリストは「ただ、聖霊があなた方に下る時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となるであろう」（使徒行伝1章8節）と弟子達に約束しました。なぜ聖霊が下らなければ、このような宣教の拡大は起こらないのですか。私達の自力というものはどれほどのものですか。

6) 繰り返し聖霊の必要性について聖書は語っておりますが、あなたは日常生活でどれだけこの「聖霊」を意識していますか。これからどのように生活すべきだと思いますか。